



▶ 令和7年9月 決算特別委員会



▶ 令和7年9月 都市交通委員会

■ 令和6年度各会計決算について

令和6年度各会計決算及び関連議案合計23件を、要望8件を付して認定、承認しました。
(要望事項の一例)

- ・防犯カメラ「神戸市カメラ」に表示看板を設置するなど、犯罪抑止の観点から整備を進められたい。
- ・「須磨ユニバーサルビーチベース」について、障がい者の利用者数が更に伸びることを鑑み、その規模を拡大されたい。
- ・小中学校の体育館空調設備を更に強化されたい。



○須磨ユニバーサルビーチプロジェクトとは？

- ・須磨ビーチを障がいのある方やご家族、小さなお子さん、お年寄りなど、みんなが気軽に安心して海を楽しんでもらえるユニバーサルデザインのビーチにしようというプロジェクトです。(HPより)
 - ・ビーチマットの設置や水陸両用車椅子「ヒッポキャンプ」などのサポート器具を活用し、海への入水サポートもしています。
- この夏、学生インターンと共にボランティアスタッフとして参加しました。



▷UBP 代表と活動

○須磨ユニバーサルビーチベースとは？

- ・須磨海岸での海水浴期間、障がいのある人が無料で利用可能な更衣施設（右写真）で、多目的トイレ・シャワー室・更衣スペース等があります。



★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通2-2-8 まどかビル2階東
TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail: info@isayama-daisuke.jp

神戸市会議員・灘区選出

いさやま大介

活動報告

プロフィール

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業。
中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)
灘区の松蔭中学と神戸海星中等学校で18年間教員を勤める(理科と化学)。
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ。

2015年、19年、23年神戸市会選挙連続当選、現在3期目。
都市交通委員会委員長(2025年10月現在)
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。

発行元

こうべ未来市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館27階
TEL : 078-322-5844 FAX : 078-322-6161

Vol.40

地域コミュニティ交通の推進を！！

地域・交通

決算議会
質疑のポイント

- ☑ 神戸市では、地域に密着した公共交通として、バスやタクシーによる地域コミュニティ交通の充実を図ってきた。
- ☑ 地域コミュニティ交通は、市街地においても広がっており、地域の生活の足を守っている。取り組みの実績と課題についてどうか。

都市局部長：高齢化の進展等により、地域コミュニティ交通の果たす役割は重要となっており、令和7年9月現在で11地区で本格運行を実施している。令和6年度では、4月に北区の生野高原地域、10月に灘区の篠原伯母野山地域、西区の櫛谷地域、計3地域で本格運行を行っている。導入に当たり、事前にアンケート調査を実施し、地域のニーズに応じた運行計画を作成。地域組織による利用啓発活動などを含め、乗って支える取組などの利用促進を行っている。



▷おばのやま号

しかし様々な課題もあり、灘区の篠原伯母野山地域では、地域組織の役員の入れ替わりに当たり、組織体制が維持できるよう、事務の引継ぎのサポートを神戸市も行ったところである。地域の実情に応じて交通が将来にわたって維持・存続できるよう、地域・運行事業者と共に、利用者の確保、組織づくりなど、様々な地域の交通課題に対して柔軟に対応する。

市政を身近に 令和7年度 第2回定例市会、決算特別委員会にて質疑しました！

人口減少時代における空き家・空き地対策を！！

住宅・地域

○人口減少時代における住宅供給の基本的方向は？！

7月に開催されたシンポジウムにて、全国的な課題として、建築価格の高騰、空き家の増加、市街地での住宅ニーズの変化が挙げられたほか、

神戸市の特有の課題として、坂や路地の多い地形、震災後に形成された住宅ストックの老朽化なども指摘されていました。また、質、価格の両面でちょうどよい住宅供給をどう実現するかについての議論が行われました。

人口減少時代における現状の住宅政策上の課題の整理と

今後の施策検討について、質疑しました。

今後は、市有地等を活用し多様な住宅供給を進める方針を示し、

都市局とプロジェクトチームを立ち上げ、多様な住宅供給の実現に向けて動き出す、とのことです。



▷シンポジウム風景



▷多様な住宅供給（菜園付き住宅）

○再建築不可土地の利活用を！！

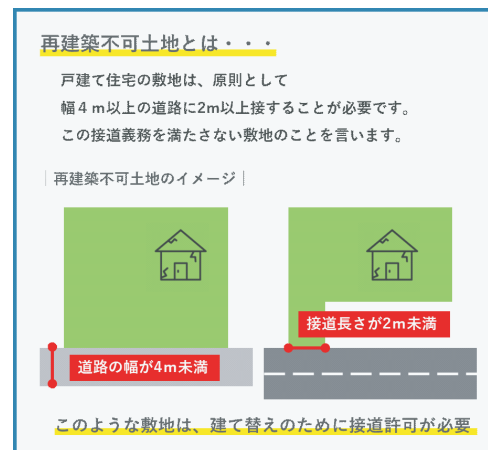
既存住宅地には、開発年代が古く、接道要件を満たさないなどの理由で再建築不可とされる土地が一定数存在しており、空き家対策を進める上でも壁となっています。

一方で、建築基準法上の許可を受けることで建築が可能となり、手頃な住宅として再び市場に流通している事例もあるようです。

再建築不可土地を活用できれば、空き地解消と新規供給を両立させる有効な手段となります。関係団体や不動産事業者との連携等、どう展開していくのか質疑しました。

（以下、方策のまとめ）

- ・接道許可を適切に活用してもらえよう、許可基準を積極的に分かりやすく情報提供していく
- ・不動産関係の団体や住宅供給事業者との意見交換を行い、許可基準の積極的な周知に努める
- ・敷地の状況に応じて接道許可の可能性を簡単に診断できるツールを作成、公表する



○空き家・空き地の地域利用を！！

灘区の灘中央市場では、空き店舗や空き地を地域活動の拠点やコミュニティー農園（右写真）として利用して地域での活性化につながっています。令和6年度における空き家・空き地地域利用の状況、実際に活用された事例などの成果について質疑しました。

令和6年度、バンクを通じた地域利用の活用件数は、空き家が19件、空き地が10件、とのことです。



神戸の魅力あるまちづくりを提案！！

都市・芸術・観光

○HAT神戸・ミュージアムロードの活性化を！！

- ☑ HAT神戸は、まち開きから27年が経過し、住民の高齢化や単身世帯の増加による住民同士のつながりの希薄化が進展している。
- ☑ これまで、なぎさ公園へのアート作品の設置、灘駅前の再整備など、地域の活性化に取り組んでいるが、今後の展開はどうか。
- ☑ 王子公園からHAT神戸につながるミュージアムロードのアイデアコンペの募集があったが、どのような狙いなのか。

決算議会

質疑のポイント

都市局長：令和6年度はUR都市機構との連携により、住宅内の広場を防災機能を持った空間に改修するなど、コミュニティー醸成を図る取組を行っている。

令和7年度はメインの動線となるミュージアムロードで、アイデアコンペを開始している。

また、市内の主要施設とHAT神戸内の施設をシームレスにつなげる神戸観光MaaSによるデジタル企画乗車券の検討を進めている。兵庫県・周辺の民間事業者とも連携しながら、HAT神戸の活性化につなげていく。



▷ミュージアムロードと灘駅前南広場

都市局部長：アイデアコンペでは、王子公園の再整備やアイススケートリンクのオープンなど、周辺の環境の変化を契機としたミュージアムロードを、より魅力的な空間にしていきたい。おおむね10年から20年後の姿を見据えた空間づくりについて、アイデアを募るものである。王子動物園を訪れたファミリー層や、キャンパスに通う学生らが、HAT神戸へと足を延ばすきっかけとなるような、エリアの回遊性向上につながるようなアイデアを期待している。提案されたアイデアは、ミュージアムロードを含む周辺のまちづくりを検討する際に活用する予定でこれをきっかけに、周辺エリアの価値向上に寄与する取組につなげていく。

地域人材の発掘およびNPO支援を！！

地域

各区役所主催の「地域プレイヤー交流会」の今後の展望と、民生委員の活動等を知ってもらうことにも取り組む方策、そして、NPO支援およびその土台となる中間支援団体との連携に対する考え方を、質疑しました。

地域交流
イベント